

<東京都府中市>

地方自治体の既存施策と連携した 歩行空間ネットワークデータ作成・活用に関 する現地事業

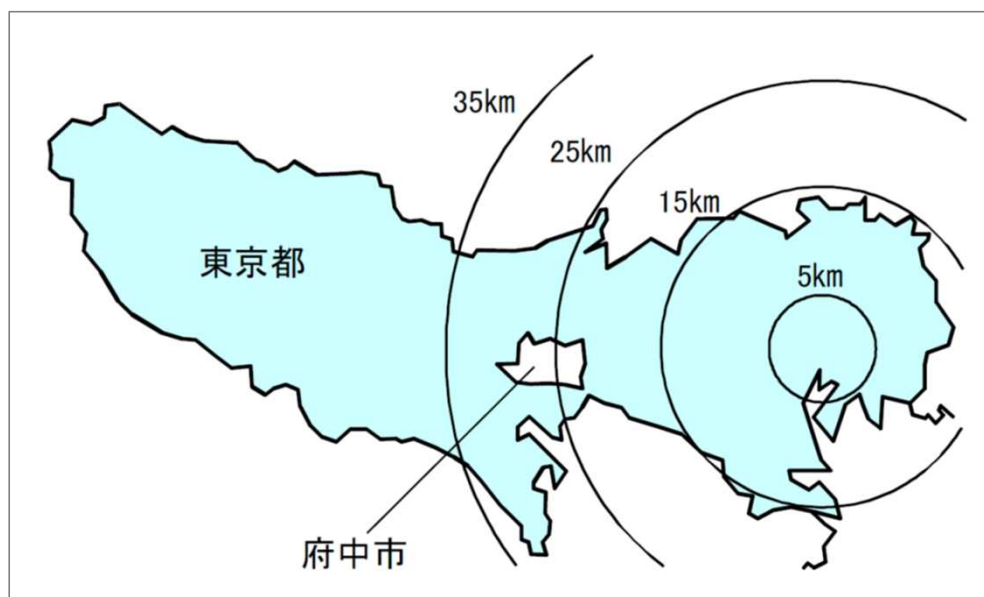
実施内容報告

令和2年10月

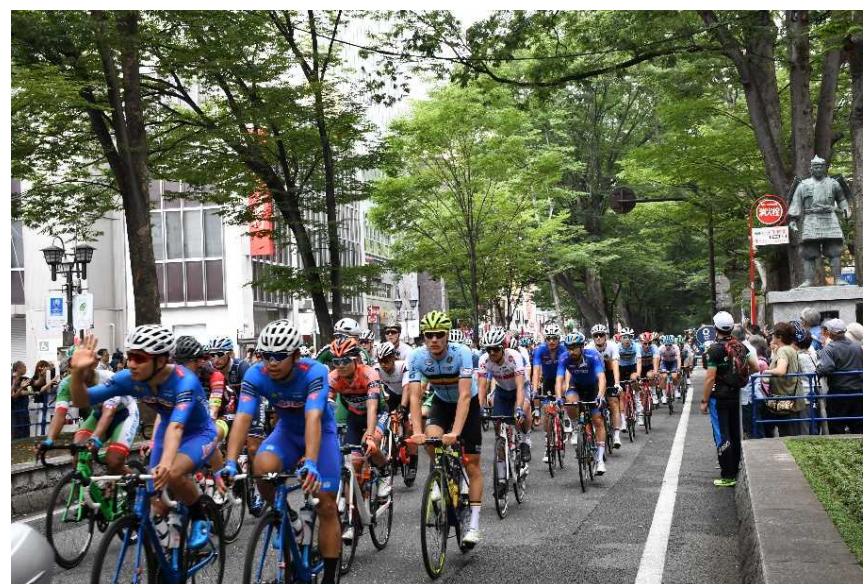
実施主体：府中市福祉保健部地域福祉推進課

府中市の概要

- 府中市は、東京都のほぼ中央に位置し、副都心新宿から西方約22キロメートルの距離にあり、人口約26万人の市である。夜間人口と昼間人口がほぼ同一で職住近接した生活環境を有する都市である。
- 府中市では、まちづくりの基本理念として「市民が主役のまち」「絆で結ばれたまち」「誇りと愛着のもてるまち」「安全安心なまち」を掲げ、安心・安全な住みやすいまちづくりを進めている。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック大会では、自転車競技（ロード）のコースが府中駅周辺を通過することとなっており、市外から府中市中心部への来訪が多くなることが予想されている。



< 府中市の位置 >



< 自転車競技（ロード）テストイベントの様子 >

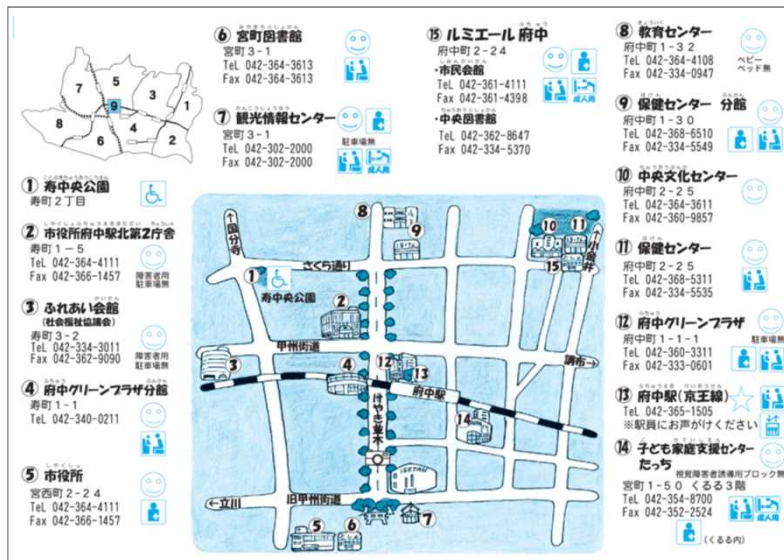
現状のバリアフリーに関する取組と課題

<現状のバリアフリーに関する取組>

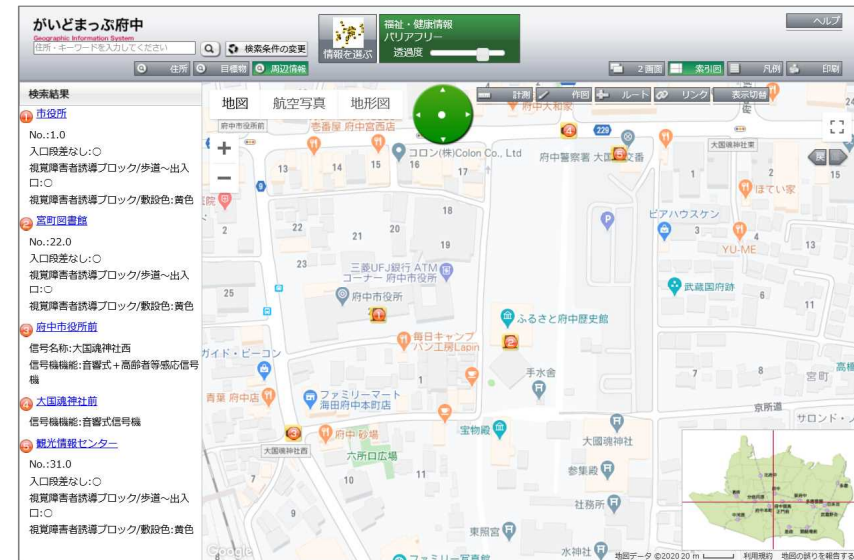
- 2006年に障害当事者や高齢者、ボランティア参加による市内9地区のバリアフリーマップを作成し、府中市ホームページで公開している。
- 2019年4月から市民団体との協働によりバリアフリーマップの改訂に取り組んでいる。
- バリアフリーマップ作成のほか、住民向けの公開型GIS（がйдまっぷ府中）で主要施設のバリアフリー対応状況や歩行者用信号機の音響式対応の有無などの情報を提供している。

<現状の取組に対する課題>

- バリアフリーマップは、2009年時点から更新されておらず、最新情報を提供する必要がある。
- 施設に関する情報は、バリアフリーマップや公開型GISで提供できているが、障害者等の移動を支援するための経路のバリアフリー情報は存在しないため、情報を提供する必要がある。



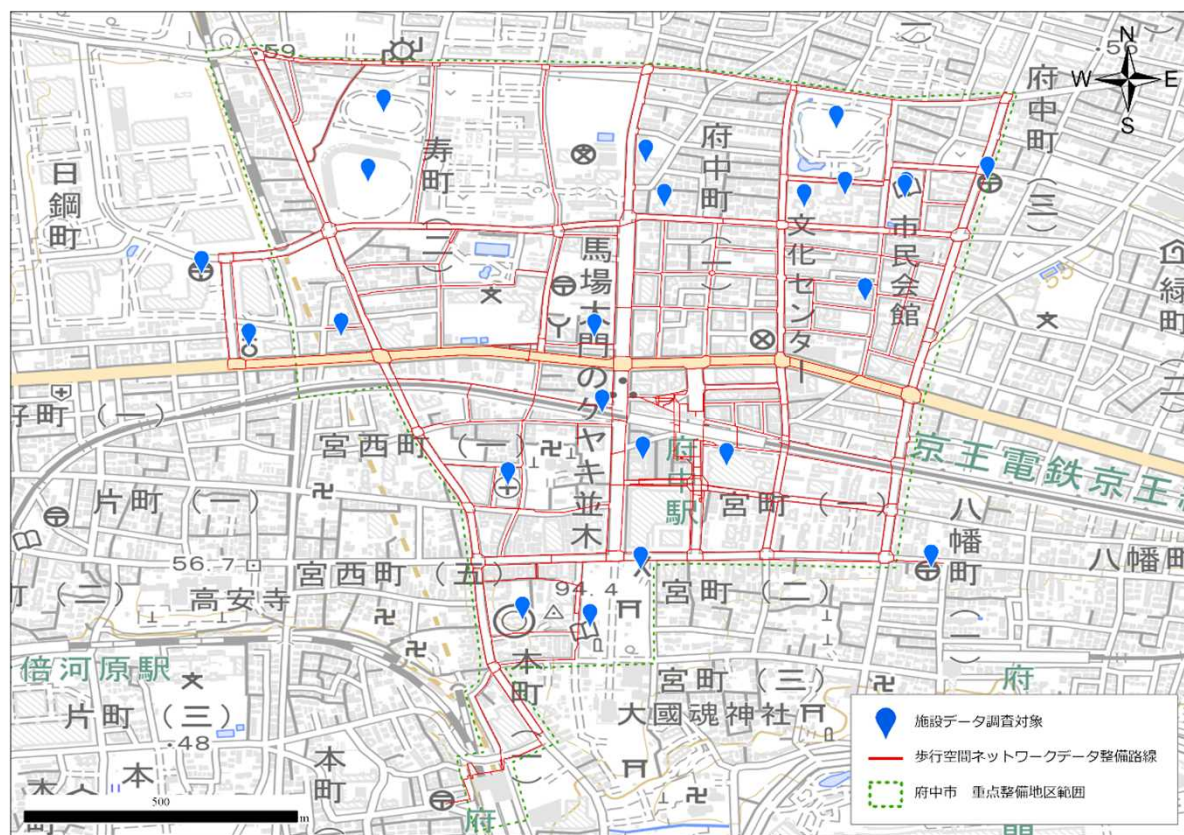
<府中市バリアフリーマップの例（2009年改訂）>



<住民公開用WebGISでのバリアフリー情報提供>

歩行空間ネットワークデータ等の整備

- 府中市の中心部である、府中駅と府中本町駅を中心にバリアフリー重点整備地区内の主要な経路の歩行空間ネットワークデータ及び施設データを整備。
- 歩行空間ネットワークデータの属性項目として、今後の歩道施設の改良へ活用するために、視覚障害者誘導用ブロックのJIS規格対応の有無を調査し、第3層データとして追加。
- 施設データには、障害者からの問合せ等が多くある、フリーWi-Fiの有無、弱視者向けの拡大読書器の有無、手話対応が可能なスタッフの有無、シグナルエイド対応機器の有無等の情報を第3層データとして地域のニーズを考慮し追加。



<府中市内の歩行空間ネットワークデータ等の整備状況>

種別	追加調査項目・理由
歩行空間ネットワークデータ	(追加項目) ・視覚障害者誘導用ブロックのJIS規格対応有無 (追加理由) ・視覚障害者誘導用ブロックの改修計画立案のための基礎データとするため。
施設データ	(追加項目) ・車いすの貸出の有無 ・フリーWi-Fiの有無 ・弱視者向けの拡大読書器の有無 ・手話対応が可能なスタッフの有無 ・シグナルエイド対応機器の有無 (追加理由) ・障害者等からの問合せが多い項目であるため。

<地域のニーズに合わせた追加調査項目>

歩行空間ネットワークデータ等の自治体業務への活用可能性

- 府中市役所の庁内部署が実施する既存施策に歩行空間ネットワークデータ等を活用することが可能であるか、庁内の部署に幅広くアンケート調査を実施。
- 「防災」「障害福祉」「土木・公園」「観光」部門等が実施する自治体業務に歩行空間ネットワークデータ等を活用することで既存業務の高度化・効率化が可能との意見が得られた。

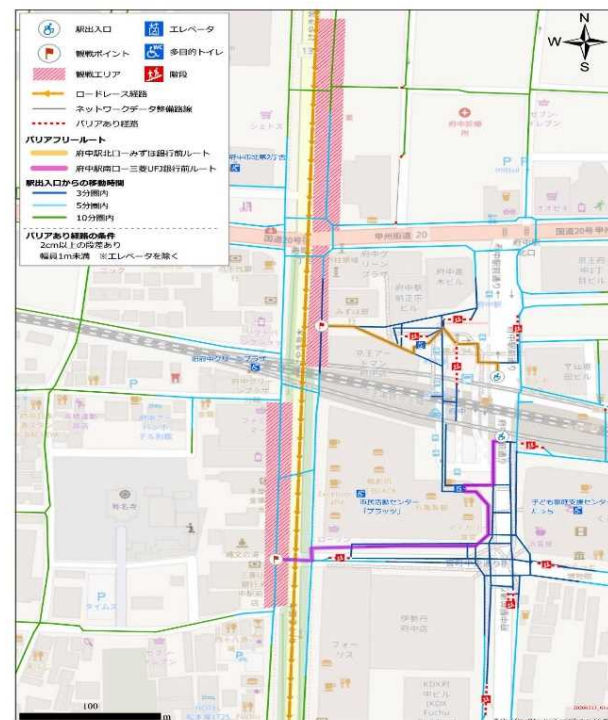
分野	用途
防災	<ul style="list-style-type: none">歩行空間ネットワークデータの情報を掲載したバリアフリーマップに災害時に避難所となる小中学校の情報を加えることで、避難の際の通行しやすい経路の事前確認に役立てることが可能。
障害福祉	<ul style="list-style-type: none">車いす使用者や視覚障害者に対し、段差解消などのバリアフリー化されている歩道の情報や公共施設のバリアフリー化の情報をきめ細かく提供することが可能。
土木公園	<ul style="list-style-type: none">通路のバリアフリー化の状況が定量的に把握できるため、改修箇所の選定や改修工事の優先度、工事費の算定等に活用することが可能。
観光	<ul style="list-style-type: none">美術館等の観光施設まで車いす使用者やベビーカー利用者等の属性に応じて利用できる最適なルート情報を提供することが可能。

歩行空間ネットワークデータ等を利用したサービスの提供

○庁内アンケート調査等の意見を参考に歩行空間ネットワークデータ等を有効に利用して住民の安心・安全に寄与する新たなマップ等を庁内部署と連携し作成予定。

＜作成したマップの例＞

- ①防災に関する情報を整理した既存の「強み・弱みマップ」に経路のバリア情報を追加し、災害が発生した場合の事前確認に役立つマップの整備を検討中。
- ②東京2020オリンピックの自転車競技（ロード）の観戦を想定し、駅出口からの観戦場所までの移動時間と通行可能な経路を示した観戦者向けマップを整備予定。



＜強み・弱みマップへの歩行空間ネットワークデータの追加＞ ＜自転車競技観戦場所までの移動時間・バリアフリー経路情報＞
※上記マップはイメージ図です。

次年度以降の取組



府中市マスコットキャラクター

ふちゅこま



- 今年度データ整備を実施した府中市の中心部である、府中駅と府中本町駅を中心にバリアフリー重点整備地区内のほか、東京2020オリンピック・パラリンピック会場となる施設周辺駅の歩行空間ネットワークデータ等の整備に取り組む。
- 整備したデータは、住民向けの公開型GIS（がいどまっぷ府中）への掲載、バリアフリーマップ改訂のための協働事業実施団体へデータ提供、オープンデータを利用し地図を作成することができる機能を搭載した市民活動ポータルサイト（プラnet）へデータ提供を行う。
- 整備したデータを歩行者移動支援サービス以外の多用途への活用を引き続き検討する。



<市民活動ポータルサイト（プラnet）>



※上記マップはイメージ図です。